

スマート林業導入加速へ

研修会の開催や情報提供など



初会合で今後の取り組みなどを確認する「やまぐちスマート林業実装加速化協議会」の委員＝26日、山口市秋穂二島

林管理事務所など関係機関の代表者ら委員5人で構成。会長に鹿兒島大農学部寺岡教授を選んだ。寺岡教授は「委員の皆さんの知恵を借りながら進めていきたい」と述べた。

初会合の後、初めての研修会を開き、スマート林業有識者の寺岡会長による基調講演や、スマート林業技術の実演などを行った。県内七つの森林組合や県と市の職員ら約80人が参加した。

協議会は今後、県農林水産事務所の職員によるスマート林業推進員や関係企業、関係団体で構成する導入支援チームを設置。森林組合などの事業者がスマート林業技術を導入する際に技術的な相談対応やスマート機器などの試用機会を設ける。来年3月の会合で成果を報告する予定。

県は2018年度から昨年度までの3年間、国の事業採択を受け、各種レーザー計測技術を活用した森林資源情報のデジタル化やICTを活用した現場の工程管理などさまざまなスマー

県が協議会設立、初会合

情報通信技術（ICT）

などを活用したスマート林業技術の現場導入を加速させるため、県は26日、「やまぐちスマート林業実装加

速化協議会」を設置した。

山口市秋穂二島の県セミナーパークで初会合があり、研修会の開催や林業事業者の支援、情報提供などに取

り組むことを確認した。

協議会は県森林組合連合会や県木材協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、近畿中国森林管理局山口森

ト林業技術の実践、実証に取り組んだ。
本年度はこれまでの成果を生かし、先進技術や装備をパッケージ化した主伐から再造林まで一貫作業システムを実践するための支援や、スマート林業技術などの活用で労災防止や労働負荷の改善を図り林業従事者の確保と定着を促進する施策を展開する。

（大下秀幸）